

課題だと思っています。

と思います。逆に言うとは仕事としては、大いにやりがいがあります。助役の仕事が忙しいとは思っていましたが、想像以上に多種多様で、しなければいけない業務が多いのに驚いています。もう少し権限委譲して効率よく進めることも必要ですね。

教育長

私は最初に北条鉄道でこちらに参りました。混んでいて、妻と後ろの方で立ち続けていたのですが、ずっと前の方に座っていた女性が、わざわざお座りになりました。それにきてくれました。それが私と市民との初めての会話で、一番印象に残っています。また教育研修所に第一次世界大戦の時のドイツ軍の俘虜収容所の建物の残材がそのままの状態に残っていることにも感銘を受けました。それに教育だけではなく、経済や社会のことでも前向きにこのまちはこれからいろんなことをしていかなければならないと思います。例えば26の幼児教育・保育施設、11の小学校など、今まで大きな力で守ってきたものを未来に向かつてどう変えていくかということは、加西市民の大きな

市長

私は、加西市の強みは農業基盤だと思っています。溜池や里山の景色も素晴らしいですね。昨年の11月末に近畿の自治体として初めて、加西市バイオマスタウン構想が国の採択を受け、平成18年度から本格的に事業を展開できる素地が出来ました。私が就任一週間で農水省を訪ね、「是非、加西市で環境のまちづくりをしたい」と力説したことを思い出し、誠に感慨深いものがあります。バイオマス事業は、ひと言で申せば、今までお金をかけ、エネルギーもかけて、焼却したり、捨てていた市内の有機物を資源として活用することです。スーパーにはない物、都市住民がお金を出しても手に入らないものが、この加西には一杯あります。

大量生産・大量消費・大量廃棄という私たちの生活スタイルを見直し、自然や環境の大切さを認識し、守っていく過程で、子供たちの人間教育や食育について、あるいは私たち自身が、公共心や心の安らぎの大切さも感じるようになること

考えています。バイオマスタウン構想が、市民の環境意識改革の大きなきっかけとなるように願っています。

そういう意味で、加西市が全国に向けて発信できるもの、誇れるものは何でしょうか？ また誇るべきものは何でしょうか？

助役

誇れるものということ了他市との競争的優位という言葉に置き換えれば、農業だと思っています。面積もありますし、京阪神の大都市にも近いこともあり、一番強みを発揮できる分野だと思っています。現実には米だけではなく、イチゴや紫黒米などおいしいものがたくさんありますので、これらをアピールして、販路を拡大して、もっと大きな産業に出来るのではないかと思います。



教育長

加西では、すでに、いい教育が行われています。学校教育の分野では、教職員が

力を込めて園児・児童・生徒の教育に当たっておりますし、必要に応じて、臨床心理士の支援を受けたり、教師の授業の

定着を図るために、学生をアドバイザーとして招き、生徒一人ひとりに補助的な指導をしてもらっています。生涯学習の分野では、一例だけ挙げますが、子育て支援の学習プログラムが好評です。私の大きな仕事の一つは、加西の各学校、各学習・スポーツ施設がそれぞれに創り上げている特色を市民の皆様、全国の皆様に知らせていくことだと思っています。

市長

4月からは、市役所の中に食材課を設けます。全国に誇れる加西ブランドを創造していきたい。特色ある郷土料理も開発していきたい。教育長がおっしゃるように加西の教育にも幼児園特区など、特色ある教育があるわけで、全国に向けて、情報発信できるように、さらなる教育改革に取り組んでいきたいと思っています。私は、行政は最大のサービス産業であり、市民が主役でお客様ですと常々職員に言っています。市民の皆さんにご

満足いただける質の高いサービスを低コストでタイムリーに提供することが大事です。

私は年頭に当たり、職員に次の三点を訓示しました。一つは、市民のために、高い使命感をもって、問題を先送りすることなく、期限を区切って仕事をし、成果を上げてほしい。二つ目は、常に前向きに物事に挑戦してほしい。三つ目は、現状の問題点を解決するため、もっと国や県にアピールしようということ。具体的解決策を全国に先駆けて提案すれば、国は新しいモデル事業として予算もつけてくれるのです。お二人の市政上の今年の抱負は？

助役

今年の1年は改革への道筋をつける年と思っています。市のブランドデザインを描き、改革マニフェストを作り、優先順位をつけて着実に実行していく。そのための一年目が今年だと考えています。財政再建、市民満足度の向上、加西市の将来ビジョンの策定が大きな三つの課題であり、その達成のためには、コスト意識・スピード・現場主義等が必要です。また、情報開示、企業でいう